

## 11. 放射線科における TQM 活動

### ～ 足部立位撮影を安全に行う為に ～

大分赤十字病院 ○日野 雄介

#### 【目的】

TQM を活用して、足部立位撮影の検討を行い、放射線科における医療の質と医療の安全の向上をはかった。

#### 【方法】

健常者 5 名に対して、今まで行っていた足部立位撮影の体勢を体験してもらい、実際の印象と感想をアンケートした。その結果をもとに、1 番意見の多かった撮影の際に感じる怖さについて、TQM の手法の 1 つである特性要因図を活用して、問題の把握と解決に取り組んだ。改善した後に、同様の 5 名に再びアンケートを実施し、改善の前後で比較検討した。

#### 【結果】

改善後の足部立位撮影は、架台や撮影時の患者さんの姿勢、フットスイッチの導入など多くの点で良好な改善が認められた。また、技師によってさまざまであった撮影方法も統一でき、再現性の高い画像を提供することを可能とした。当院には撮影室が 3 部屋あり、改善前は 1 部屋でしか撮影できなかった為、全ての撮影室でも撮影できる様に改善しようとした。しかし、機械の構造上不可能であった。

#### 【考察】

今回 TQM を活用して、足部立位撮影の改善を行い、多くの点で良い結果が得られた。これは、対象者が感じる検査時の怖さを軽減できた為と考えられる。TQM 活動は問題解決の方法として有意義であり、活用する事で医療の質と医療の安全は改善・向上すると考える。